

## 会議録

会議の名称	西東京市生涯学習推進計画策定懇談会第6回会議		
開催日時	平成20年11月13日（木曜） 14時00分から 16時00分まで		
開催場所	西東京市役所保谷庁舎 4階理事者室		
出席者	（委員）川口副座長、飯塚委員、有馬委員、小田委員、三原委員、白倉委員、金子委員、水井委員 （欠席）貝塚座長、松嶋委員 （事務局）波方社会教育課長、小関社会教育課長補佐、神田社会教育係主査		
議題	1 次期計画事業の検討について 2 その他		
会議資料の名称	資料1 西東京市生涯学習推進計画（素案）（平成21年度～平成25年度） 資料2 施策体系一覧及び現行計画と次期計画の比較一覧		
記録方法	全文記録	発言者の発言内容ごとの要点記録	会議内容の要点記録
会議内容			
<p>開会 第5回会議録【案】確認 承認 配布資料確認</p> <p>議事1 計画素案の検討 事務局：計画素案の概要と検討事項について説明。 副座長：本日の会議では、12月から1月にかけて実施するパブリックコメントの素案作成のための大筋の確認を重点的に行う。</p> <p>事務局：「1. 計画の背景」と「2. 計画の目的」について説明【資料1】 副座長：意見質問等はあるか。 委員：「西東京市の現状と課題」に、計画の始めの5年間の評価から浮き出た課題と対策を記述するべきではないか。また「計画の目的」にも反映するのか。 （事務局）記述する。今回行ったアンケート調査の内容等も含められるとよい。「計画の目的」には反映しない。</p> <p>副座長：「2. 計画の目的」の「2-1計画の理念と方向」の「（1）この計画で目指すもの」において、「循環型」と「参画型」の記述があるが、この2つは次元の違うものであり表現を改めるべきではないか。7ページの最下段の「循環」という記述とも整合</p>			

性をとるべきではないか。

委員：7ページの文中5行目とも整合性をとるべきではないか。

(事務局)修正する。

委員：「1.計画の背景」の「(4)市民参画や行政・民間・NPO等の連携に関して」の「市民全体の生涯学習の担い手としてのNPO等」における「2009年の市民活動を支援し」という記述は、活動全体が2009年のような誤解を招くのではないか。また記述は20年の間違いではないか。

(事務局)記述位置を修正する。開設は平成21年3月で、平成20年度になる。事実関係に合わせて年度や日付を記述する。

事務局：「3.生涯学習推進の施策・事業」についての説明【資料1】

(1)情報ネットワークづくり

副座長：意見質問等はあるか。

「この施策が目標とするまちのすがた」において「情報」とだけ記述があるのはあまりに一般的で抽象的ではないか。「生涯学習情報」等と記述するべきではないか。また「することが」という表現が「(2)施設ネットワークづくり」と統一されていない。修正を望む。

(事務局)修正する。

副座長：展開イメージ図「総合的な学習情報の提供」の「生涯学習情報の窓口」(12ページ)について、各図書館や公民館より高度で総合的な窓口を一箇所作するという趣旨だと理解していた。この部分は「生涯学習情報総合窓口」と記述した方が、市民にとってもわかりやすいのではないか。「施策の展開イメージ(プロセス)」や「(1)情報ネットワークづくり」「1 総合的な学習情報窓口」(13ページ)についても同様である。「生涯学習情報総合窓口」はどこに設置するのか。

(事務局)表現について検討する。設置場所は田無駅南口のイングリッシュビルを想定している。企画政策課が同ビル1階に「(仮称)市民協働推進センター」というものの設置を予定している。同センターに「生涯学習情報総合窓口」の機能を持たせてもらえないか企画政策課に打診している。

委員：「2 学習相談の拡充」に「公民館や図書館に専門的な職員を配置し」と記述されているが、各公民館や図書館に専門の職員を置くのか。また増員するのか。その必要はあるのか。総合的な窓口を一箇所設けるという記述は、全体的に専門の職員を配置するような印象を持ち、人件費の面で問題があるのではないか。

副座長：「専門的な職員を配置し」とは具体的にはどの程度のことを考えているのか。

(事務局)増員ではなく、現職の公民館専門員等を活用する。増員のように捉えられるのであれば、文章を修正する。

副座長：「この施策が目標とするまちのすがた」に「だれもがいつ、どこでも情報を受け取り、発信することができる」とある。「だれもが」とは主に市民を指していると思うが、「発信」とはどのようなことを想定しているのかよくわからない。

(事務局)生涯学習についての文化的な活動をしている団体の活動PR等を想定している。情報を発信できるような機能を窓口を持たせたいという意味である。

(2)施設ネットワークづくり

副座長：意見質問等はあるか。

展開イメージ図3において「姉妹都市」と「友好都市」の記述が離れている。

(事務局) 修正する。

### (3) 支援ネットワーク作り(人材、機会、資金等)

副座長：意見質問等はあるか。

「施策の基本方向」と「この施策が目標とするまちのすがた」の表現が不整合ではないか。最下段の記述についても同様である。「資源」と統一してはどうか。

(事務局) 「資源」を中心に修正する。

### (4) 全市的な生涯学習推進のネットワークづくり

副座長：意見質問等はあるか。

「具体的な施策・事業(アクション)」の「生涯学習政策の企画・マネジメント部門の構築」(23ページ)における「教育委員会内に」という記述は「社会教育課に」ということか。また「専任」とは生涯学習推進以外の仕事はしないということか。専任を目標にするのであれば、表現が弱いのではないか。例えば「生涯学習コーディネーター」という方がわかりやすく、市民にアピールできるのではないか。

(事務局) 事実上そうなる。社会教育主事がこの役割に就くイメージである。専任を目標とし、表現について検討する。また「この施策が目標とするまちのすがた」の記述は「2. 計画の目的」(7ページ)と整合性をとり「協働」と表現するよう検討する。

副座長：「施策の基本方向(ゴール)」において「教育機関」という記述が欠落しているのではないか。

(事務局) 修正する。

事務局：「3-2・ライフステージや生活課題に対応する学習支援」「3-3. 西東京市における生涯学習の地域づくり」について説明【資料1】

#### (1) 地域社会の一員としての基礎的な力を育める

副座長：意見質問等はあるか。

副座長：途中で表現のスタイルが変わっている。また26ページが(2)の見出しで始まっている。

(事務局) 「3-2(5) 課題解決能力の力をつける学習支援がある」が特殊な作りになっている。P. 26は見出しを修正する。

副座長：「この施策が目標とするまちのすがた」(25ページ)の記述は「子育て」ではなく「子育て」ではないか。最下段についても同様である。

(事務局) 修正する。

#### (2) 豊かな心を育てる体験活動が持てる

副座長：意見質問等はあるか。

「この施策が目標とするまちのすがた」の「様々な世代が、子どもが地域とかかわりながらいきいきと成長できるまち」という記述は適切か。

(事務局) 「様々な世代が、」の記述を削除する。子どもだけではない色を出そうと思ったが、実際の施策内容は子どもが中心であり最終的な表現になった。

副座長：「展開イメージ図」1、2では「子ども」と記述してあるが、3では「青少

年」と記述されている。表現が異なるのは範囲が違うという意識があるからか。

(事務局) 事業の中において、「青少年」は中高生を、「子ども」では小中学生を対象としている。

(3) 気軽に文化活動・スポーツ活動ができる

副座長：意見質問等はあるか。

「施策の基本方向(ゴール)」の「(歩いていける地域)」という記述は必要か。ライフステージにより歩ける地域の範囲は大幅に違う。また自転車利用者も多い。「日常生活圏」とだけ記述するべきではないか。

(事務局) かつこ内の表現を削除する。

(4) 地域・社会の様々な場で活躍できる

副座長：意見質問等はあるか。市役所の職員が市内で講座を開く等するものを「出前講座」と呼ぶことが多いと思うが、「出前講座」という言葉の意味はだれにでもわかるか。

委員：「展開イメージ図」において、上下の枠で性別に関する記述が統一されていない。また「具体的な施策・事業(アクション)」1の記述も含め、市民が講座を受けるのか、キャリアを持つ市民が講座を開催するのか不明瞭だ。また女性だけでよいのか。男性は学習歴やキャリアが非常に高いが社会参加は大変少ない。

(事務局) 「女性の」ではなく「男女の」に修正する。また「出前講座」という表現はイメージが統一できるように説明する。ここでは市民が出前講座を受けるという意味である。キャリア形成や職能支援を市独自で用意することは難しいが、職員による「出前講座」の中でそのようなものがあればできる。都レベルなどの就労支援の講座も積極的に情報提供をしていきたい。「出前講座」は学習機会を提供する柱であり、受講者がキャリアの学習支援を受けることにより地域社会において活躍できるようにするのが目標である。

委員：「具体的な施策・事業(アクション)」4の「障害のある人への就労支援」の記述は、社会教育課の中で就労支援をしてもらえると市民は思うのではないか。

(事務局) 障害者福祉計画の中での就労支援を想定している。表現については今後担当課と調整する。

副座長：「障害のある人への就労支援」や「就労支援に関する情報提供」という表現には疑問を感じる。「学習機会と情報提供を行います」という文言が情報提供という部分で少し先に進みすぎているのではないか。タイトルにおいても「就労支援」で切れているのは適切か。

(事務局) 修正する。

(5) 課題解決の力をつける学習支援がある

副座長：意見質問等はあるか。

委員：図2-5の「あるいける」の記述は「歩いていける」ではないか。

(事務局) 修正する。

3-3. 西東京市における生涯学習の地域づくりの展開

副座長：意見質問等あるか。

委員：表「重点的な推進事項」（１）に「関係各課・施設と連携した地域における」（43ページ表内）という記述があるが、「連携した地域」ではなく「連携した上で」や「連携に伴った」という意味ではないか。表現や改行の修正を望む。

委員：「（２）地域住民や団体と連携した学び合いの促進」の「市民人材の積極的活用事業の創設」における「還元するしくみとして、市民講師による提案制度の創設」という記述が不明瞭だ。

副座長：採択されるまで一市民であるのに、「市民講師」と記述するのは不明瞭だ。

（事務局）知識や技能を持った個人に自ら講師となる講座の企画提案を行ってもらい、審査等により一定レベルで採択された講座の開催を市が支援することを検討している。表現について言葉を足らずであった。例えば「提案制度の事業の創設を検討します」といった「事業」等の表現を加えればよかった。

## 議事2 その他

事務局：計画素案のパブリックコメントの実施について説明。

副座長：意見質問等あるか。なければ本日の会議は終了とする。後日気づいたことがあれば来週木曜日頃までに電話やFAXやメールなどで社会教育課に知らせて欲しい。次回の会議は12月11日木曜日午後2時とする。